精神政策医療ネットワークによる統合失調症の 治療及び社会復帰支援に関する研究

主任研究者 塚田 和美

日時：2006年12月11日（月）9:00～18:30

部屋：霧島東の間（6F）

*印は発表時間10分、討論3分です。他は発表時間7分、討論3分です。
液晶プロジェクター（WindowsのPower Pointのみ）は、こちらで用意します。

〔敬称略〕

※氏名の前の○は発表者、下線は分担研究者

9:00～9:05 開会の辞 塚田 和美

9:05～ 全体研究 座長：吉住 昭

1. *精神病未治療期間(DUP)と初回治療反応および予後との関連
—統合失調症の多施設間、前向き長期予後研究(JPSS2)から—
○渡辺美智代¹⁾、塚田和美²⁾、JPSS Working Group
1) 東京大学大学院医学系研究科、2) 国立精神・神経センター国府台病院
2. *初回エピソードの統合失調症患者における認知機能と病識の継続的变化について
—JPSS2(Japan Prospective Study of Schizophrenia)
○酒井佳永¹⁾、塚田和美²⁾、JPSS Working Group
1) 順天堂大学医学部精神医学教室、2) 国立精神・神経センター国府台病院
3. *統合失調症の長期予後に関する文献研究(第2報)
○三浦伸義¹⁾、舟橋龍秀²⁾、助川鶴平³⁾、金澤耕介⁴⁾、三澤史齊⁵⁾、酒井佳永⁶⁾、
大島巖⁷⁾、渡辺美智代⁷⁾、吉住昭⁸⁾、伊藤寿彦⁹⁾、塚田和美⁹⁾
1) 東北大学病院精神科、2) 国立病院機構東尾張病院、
3) 国立病院機構鳥取医療センター、4) 九州労災病院、5) 山梨県立北病院、
6) 順天堂大学医学部精神医学教室、7) 日本社会事業大学、
8) 国立病院機構肥前精神医療センター、9) 国立精神・神経センター国府台病院
4. *統合失調症における処方単純化、減量化の研究
○助川鶴平¹⁾、水野泰尚³⁾、RASS Study Group
1) 国立病院機構鳥取医療センター、2) 国立精神・神経センター国府台病院
3) 上智大学大学院総合人間科学研究科
※以下発表番号6まで施設番号共通
5. *抗精神病薬の心機能への影響(文献研究)
○長谷川恵²⁾、伊藤寿彦²⁾、助川鶴平¹⁾
6. *統合失調症における処方単純化、減量化が服薬態度に及ぼす影響
○水野泰尚³⁾、長谷川恵²⁾、助川鶴平¹⁾、RASS Study Group
7. *統合失調症患者入院継続の予測因子について
—国立精神療養所へ82ヶ月以上入院を続けた患者群について—
○不破野誠一¹⁾、野口理英子¹⁾、藤生英行²⁾、塚田和美³⁾、JESS Working Group
1) 心療内科クリニックふわの医院、2) 上越教育大学心理臨床講座
3) 国立精神・神経センター国府台病院

8. *旧国立精神療養所に入院していた統合失調症患者の生命転帰－JESS Motrality Study－
○稲垣中¹⁾、中川敦夫¹⁾、不破野誠一²⁾、金澤耕介³⁾、吉住昭⁴⁾、塚田和美⁵⁾、浦田重治郎⁵⁾、
JESS2000 Study Group、JESS2005 Study Group
1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科、2) 心療内科クリニックふわの医院、
3) 九州労災病院、4) 国立病院機構肥前精神医療センター
5) 国立精神・神経センター国府台病院
9. *旧国立精神療養所に長期入院していた統合失調症患者の退院後社会転帰
○稲垣中¹⁾、中川敦夫¹⁾、不破野誠一²⁾、金澤耕介³⁾、吉住昭⁴⁾、塚田和美⁵⁾、浦田重治郎⁵⁾、
JESS2000 Study Group、JESS2005 Study Group
1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科、2) 心療内科クリニックふわの医院、
3) 九州労災病院、4) 国立病院機構肥前精神医療センター
5) 国立精神・神経センター国府台病院

11:10～ 薬物療法 座長：坂本 宏、稲垣 中

10. NLS化要因調査－統合失調症患者の入院期間と薬物治療の関連について
○三澤史斉¹⁾、藤井康男¹⁾、長尾圭造²⁾、前田昭彦²⁾、助川鶴平³⁾、佐藤雅人⁴⁾
1) 山梨県立北病院、2) 国立病院機構榊原病院、3) 国立病院機構鳥取医療センター
4) 国立病院機構琉球病院
11. NLS化要因調査－独立行政法人、公立四病院の調査結果－
○佐藤雅人¹⁾、長尾圭造²⁾、前田昭彦²⁾、助川鶴平³⁾、三澤史斉⁴⁾、藤井康男⁴⁾、村上優¹⁾
1) 国立病院機構琉球病院、2) 国立病院機構榊原病院、
3) 国立病院機構鳥取医療センター、4) 山梨県立北病院
12. 統合失調症入院患者に対する抗精神病薬処方の変化とそれにかかるコストについて
－下総精神医療センターにおける 2000 年と 2005 年との比較－
○中嶋純洋、織田辰郎、冨永格 [独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター]
13. 統合失調症入院患者において薬物療法が入院期間に及ぼす影響について
○助川鶴平¹⁾、三澤史斉²⁾、佐藤雅人³⁾、前田昭彦⁴⁾、松島嘉彦¹⁾、坂本泉¹⁾、土井清¹⁾、高田耕吉¹⁾、林芳成¹⁾、池成孝昭¹⁾、柏木徹¹⁾
1) 国立病院機構鳥取医療センター、2) 山梨県立北病院、3) 国立病院機構琉球病院
4) 国立病院機構榊原病院
14. 国立花巻病院における新規抗精神病薬導入前後の統合失調症急性期薬物療法調査
○澁谷治男¹⁾、大島紀人¹⁾、朝比奈次郎¹⁾、佐藤弓¹⁾、藤田宗久²⁾
1) 独立行政法人国立病院機構花巻病院、2) 都立荏原病院
15. 慢性統合失調症者に非定型抗精神病薬が選ばれない背景
○前田昭彦、岸田学、長尾圭造 [独立行政法人国立病院機構榊原病院]
16. 武蔵病院における mECT および、急性期閉鎖病棟における隔離拘束の現状、海外における抗精神病薬の多剤併用について
○野田隆政、新井薫、久邇晃子、牧安紀、市川亮 [国立精神・神経センター武蔵]

蔵病院]

17. Aripiprazole への switching と経過追跡(第1報)ー8 週後の結果から
○田澤美穂子、宮田量治、輿石郁生、川上宏人、岩崎弘子、三澤史斉、市江亮一、
小林美穂子、勝見千晶、藤井康男 [山梨県立北病院]

12:40~13:35 昼 食 (班会議)

分担研究者・ワーキンググループの方は妙高の間(7F)にお集まり下さい。

13:40~ 薬物療法 座長：坂本 宏、稲垣 中

18. 肥前精神医療センターにおける重症統合失調症治療技法の変遷
○樋口華奈子、岩永英之、中川伸明、須藤徹
[独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター]
19. 小諸高原病院における重症統合失調治療技法の変遷
○宮島志穂、村杉謙次、古田哲理 [独立行政法人国立病院機構
小諸高原]
20. さいがた病院における重症統合失調症治療技法の変遷
○森田善晴、橘輝、川村剛、川本孝憲、豊岡和彦、西澤芳子、武内広盛
[独立行政法人国立病院機構さいがた病院]
21. 旭中央病院における重症統合失調症治療技法の変遷
○青木勉、伊藤一之、大山泰弘、丁子辰男、大塚祐司、矢野望、川副泰成
[総合病院国保旭中央病院]
22. 国府台病院における重症統合失調症治療技法の変遷
○柳沢宏一、伊藤寿彦、塚田和美 (国立精神・神経センター国
府台病院]
23. 山梨県立北病院における重症統合失調症治療技法急性期治療の変遷
○市江亮一、藤井康男 [山梨県立北病院]
24. 新規抗精神病薬導入前後の重症統合失調症治療の変化
ー公立、独立行政法人六病院の調査からー
○市江亮一¹⁾、藤井康男¹⁾、柳沢宏一²⁾、伊藤寿彦²⁾、白石潤³⁾、坂本宏³⁾、青木勉⁴⁾、
村杉謙次⁵⁾、山口博之⁶⁾、古田壽一¹⁾、塚田和美²⁾
1)山梨県立北病院、2)国立精神・神経センター国府台病院、3)国立病院機構北陸病院、
4)総合病院国保旭中央病院、5)国立病院機構小諸高原病院、
6) 国立病院機構賀茂精神医療センター
25. 公的6病院における重症統合失調症治療技法の変遷
○白石潤¹⁾、坂本宏¹⁾、市江亮一²⁾、三澤史斉²⁾、藤井康男²⁾、柳沢宏一³⁾、
伊藤寿彦³⁾、塚田和美³⁾、青木勉⁴⁾、村杉謙次⁵⁾、山口博之⁶⁾、古田壽一¹⁾
1)国立病院機構北陸病院、2)山梨県立北病院、3)国立精神・神経センター国府台病院、
4)総合病院国保旭中央病院、5)国立病院機構小諸高原病院、
6) 国立病院機構賀茂精神医療センター

15:10~15:25 コーヒーブレイク

26. 統合失調症を持つ人々を対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 14)
 ～グループ研究の全体構想と RCT を用いた本試行研究の概要～
 ○伊藤順一郎¹⁾、大島巖²⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、福井里江^{1 2)}、
 瀬戸屋希^{1 3)}、贄川信幸¹⁴⁾、香月富士日¹⁵⁾、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
 1) 国立精神・神経センター精神保健研究所、2) 日本社会事業大学、3) 久留米大学精神科、4) 帝京大学医学部精神科学教室、5) 新潟大学医学部保健学科、6) 国立精神・神経センター武蔵病院、7) 国立病院機構帯広病院、8) 国立病院機構東尾張病院、9) 国立病院機構松籟荘病院、10) 国立病院機構賀茂精神医療センター、11) 国立病院機構肥前精神医療センター、12) 東京学芸大学、13) 聖路加看護大学、14) 東京大学精神保健学分野、15) 名古屋市立大学、16) 国立精神・神経センター国府台病院
 ※以下発表番号 3 3 まで施設番号共通
27. 統合失調症を持つ人々を対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 15)
 ～予備試行研究における 1 年後調査:施設調査・スタッフ調査・フィデリティ調査の概要～
 ○大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、福井里江^{1 2)}、瀬戸屋希^{1 3)}、贄川信幸¹⁴⁾、香月富士日¹⁵⁾、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、
 塚田和美¹⁶⁾
28. 統合失調症を持つ人々を対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 16)
 ～予備試行研究におけるスタッフ調査 1 年後アウトカムの概況～
 ○福井里江¹²⁾、贄川信幸¹⁴⁾、香月富士日¹⁵⁾、大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希^{1 3)}、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
29. 統合失調症を持つ人々を対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 17)
 ～予備試行研究におけるスタッフ調査 1 年後アウトカムとフィデリティ評価の関連～
 ○贄川信幸¹⁴⁾、福井里江¹²⁾、香月富士日¹⁵⁾、大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希^{1 3)}、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
30. 統合失調症を持つ人々を対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 18)
 ～予備試行研究におけるスタッフ調査 1 年後アウトカム:スタッフの知識・態度の変化～
 ○内野俊郎³⁾、贄川信幸¹⁴⁾、福井里江¹²⁾、香月富士日¹⁵⁾、大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希¹³⁾、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾

31. 統合失調症を持つ人たちを対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 19)
 ～予備試行研究におけるスタッフ調査1年後アウトカム:障壁・困難の変化～
 ○福井里江¹²⁾、二宮史織¹²⁾、贄川信幸¹⁴⁾、香月富士日¹⁵⁾、大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希¹³⁾、森山亜希子¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
32. 統合失調症を持つ人たちを対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 20)
 ～予備試行研究における施設ケアサービス指標1年後アウトカム～
 ○西尾雅明¹⁾、大島巖²⁾、福井里江¹²⁾、贄川信幸¹⁴⁾、香月富士日¹⁵⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希¹³⁾、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
33. 統合失調症を持つ人たちを対象にした科学的根拠に基づく心理社会的介入プログラム普及促進のためのツールキット開発とその有効性の評価(その 21)
 ～本試行研究のベースライン調査の概況～
 ○香月富士日¹⁵⁾、福井里江¹²⁾、贄川信幸¹⁴⁾、大島巖²⁾、伊藤順一郎¹⁾、内野俊郎³⁾、池淵恵美⁴⁾、後藤雅博⁵⁾、西尾雅明¹⁾、安西信雄⁶⁾、岩崎俊司⁷⁾、舟橋龍秀⁸⁾、廣瀬棟彦⁹⁾、山口博之¹⁰⁾、佐伯祐一¹¹⁾、瀬戸屋希¹³⁾、森山亜希子¹²⁾、二宮史織¹²⁾、塚田和美¹⁶⁾
34. 標準版心理教育研修会ガイドラインの作成—心理教育の普及に向けて
 ○池淵恵美 [帝京大学医学部精神科学教室]
35. 帯広病院における心理教育の現状とスタッフ調査結果
 ○岩崎俊司、加賀谷暁、久保田充紀、澤山祐子 [独立行政法人国立病院機構帯広病院]
36. 東尾張病院における心理社会教育の広がり
 ○古村健、青木淳、舟橋龍秀 [独立行政法人国立病院機構東尾張病院]
37. 松籟荘病院における心理教育システムの再構築(その2)
 ○森岡瑞穂、廣瀬棟彦、毛利春美、繁野耕司、神田直子、菅喜代子、奥田純一郎 [独立行政法人国立病院機構松籟荘病院]
38. 賀茂精神医療センターにおけるツールキットを使用した心理社会的介入プログラム導入の試み(2)
 ○藤原光志、稲垣恵子、吉本ひとみ、福井順子、栗井由美、岩本朋子、山下典子、出路みのり、石田啓子、谷口友美、黒木美和、説田杏子、村山大祐、大森寛、山口博之 [独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター]
39. 肥前精神医療センターにおける心理教育の院内普及～その2～
 ○宇都宮恵美、石部美鈴、大重めぐみ、北島登喜枝、壁屋康洋、佐伯祐一、瀬口康昌、

岩永英之
医療センター]

[独立行政法人国立病院機構肥前精神

18:00～18:25 総合討論 司会：伊藤 寿彦

18:25～18:30 閉会の辞 塚田 和美